

知的障がい特別支援学級 合同算数科学習指導案

児童 2年1名 3年1名 4年1名 計3名
 授業者 (T1 及川 勇)・T2 引地 真弓

活動名	かずとあそぼう
指導事項	数遊びや操作活動などを通して、友達と楽しく関わり合いながら、数に親しむことができるようにする。
のぞむ児童の姿	・数遊びや操作活動などを通し、数に親しむことができる。 ・ルールを理解し、よい言葉かけをしながら、友達と仲良く活動することができる。
活動の目標	○友達と楽しく関わり合って活動しながら、数に親しむことができる。

1 活動について

(1) 児童について

本学級は、2年男児、3年男児、4年女児の計3名が在籍しており、個に応じた教科学習や交流及び共同学習（以下交流学习）、支援学級での合同の学習を行っている。それぞれの学習実態には幅があるが、どの子ども生活の中で算数の力を生かすことができていない状況である。また、3人とも話の中身を正確に理解することや、自分の思いを相手に分かりやすく伝えることに課題が残っている。そのため、普段の生活や交流学习では、自信のない面が多く見られたり、適切なコミュニケーションをとることができないので友達との関わりがうまくいかなかったりすることが多くある。しかし、支援学級同士での合同の学習では、伸び伸びと力を発揮して活動し、友達と協力し合いながら意欲的に学習に取り組もうとしている。

3人の学びの実態は次の通りである。

児童	学年	学びの実態等
B	2	・数への興味がうすく、読み書きが難しい。 ・1～10までを正確に数えることが課題になっている。 ・手指の力の調整が難しいため、書く活動を苦手としている。
C	3	・たし算やひき算は、時計の数字を見ながら計算することが多い。 ・繰り上がりのたし算の筆算、繰り下がりのひき算の筆算をすることができる。 ・かけ算九九は全部の段を大体暗唱でき、学年相応の進度で学習している。 ・意欲的に体験的活動をするが、繰り返し練習等では意欲に欠けることがある。
D	4	・数系列や数の理解が弱い、大体100までの数を学習している。 ・たし算やひき算は1年生前半程度で、大半は図を使って考えている。 ・周りの子を気にしながら学習し、集中できなかつたり、雑になってしまつたりする。

(2) 活動を通して身に付けたい力について（指導にあたって）

本活動の目標は、活動を通して数に親しむことである。普段の算数の個別学習は1対1で行っているため、数の面白さを感じることや他者との関わりが少ない。

そこで、自立活動の内容を意識して授業を組み立てたいと考える。本学級の児童共通の自立活動の重点目標は、

①体験を通して他者と関わるができる。【3 人間関係の形成（1）】

②ルールを守って集団遊びができる。【3 人間関係の形成（4）】

③状況に応じたコミュニケーションをとることができる。【6 コミュニケーション（1）（5）】

であり、全員他の人との関わりやコミュニケーションに難しさがある。

本校の特別支援学級には、自閉症・情緒障がい特別支援学級（3年男子1名）もあり、普段から合同の学習を仲良く一緒に行っている。学習集団が4名になることで、助け合いながらペア学習をする、仲良くグループ学習をする、他者とよい関わりをもちながら意欲的に学習に取り組もうとするなどの、お互いの学級の児童にとってよりよい効果がある。

このようなことや、それぞれの実態からも、言葉遊びや操作活動、ゲーム的要素などを取り入れた算数的な活動を2学級合同で行うことで、数の面白さを味わうとともに、小集団でのやりとりの楽しさにも触れるようにし、算数学習への意欲・素地となる力、そしてコミュニケーションの基礎力を培っていききたい。そして、お互いを認め合う言葉かけや「できた」という成就感をもたせることで、自信や自己肯定感を育て、主体的に他者と関わりながら、数や言葉を生活の中で活かすことができるようにし、自立への力をつけていききたい。

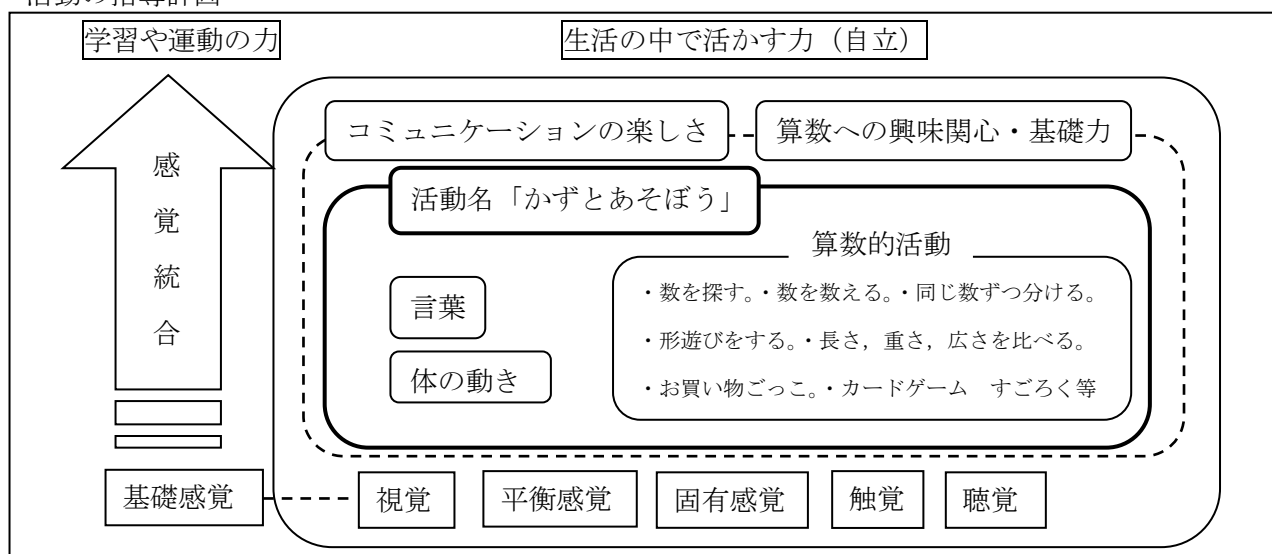
また、バランス感覚や身体の動きをコントロールする力などの不足が見られる子どもたちなので、基礎感覚を働かせる活動を取り入れていく。視覚・触覚・聴覚などの基礎感覚は、学習や運動の土台となるものなので、それらの感覚的理解を取り入れた様々な体験的活動の中で、楽しみながら学習や運動の基礎となる力を養うようにしたいと考える。

2学級合同の指導によっては、チームティーチング（以下TT）で指導にあたることのできるため、それぞれの障がいの特性に寄り添いながら、効果的な支援ができるようにしたい。

研究の実践

- 【手立て1】指導過程の工夫…2学級合同の学習によるTT指導、感覚的理解を取り入れた指導
- 【手立て2】「かく」活動…一人一人の特性に合わせたシートや教材・学習用具等の工夫
- 【手立て3】相互交流…意図的なペアやグループ活動を取り入れ、進んで友達と関わり合いながら、コミュニケーションの楽しさや友達のよさに気づく。

2 活動の指導計画



自閉症・情緒障がい学級	算数の個別指導	「かずとあそぼう」 8時間（本時7／8）
知的障がい学級	算数の個別指導	

※子どもたちの達成状況に応じて、体験的・複合的に繰り返し指導する。

3 本時の指導

(1) 本時の目標

- 2年B ルールを守って楽しく活動しながら，数に親しむことができる。
- 3年C はっきり伝えたり，自主的に活動したりしながら，数に親しむことができる。
- 4年D ルールを理解し適切な言葉で関わり合いながら，数に親しむことができる。

(2) 仮説との関わり

【手立て1】指導過程の工夫

- ・2学級合同の学習によるTT指導
- ・感覚的理解を取り入れた指導

【手立て2】「かく」活動

- ・数字を探して○で囲み，合計の個数を数える。

【手立て3】相互交流

- ・楽しく数遊びをする中で，友達と交流しながら学習する。
- ・ピンポン玉の個数を数えたり，合計を発表し合ったりする。
- ・学習の振り返りで，お互いの頑張りを認め合う。

(3) 展開

	学習活動	・支援上の留意点（個別の支援） 《評価》	教材・教具
つかむ 5分	1 学習内容を知る。 T1 ・学習の流れを確認する。 2 課題を確認する。 T1 たのしくかずあそびをしよう。	・みんなの姿勢が整うまで待ち，号令の指示をする。 ・学習に見通しをもてるよう，学習メニューを提示する。 ・課題をとらえることができるように，声に出して復唱してもらおう。(B) ・友達と楽しく関わり合って学習できるように，スマイル言葉やはきはき話すことを確認する。	・タイムタイマー ・学習メニュー ・名前カード ・紙板書 ・絵カード ・花丸カード
活動する	3 数遊びゲームをする。 ①言葉あそびをしよう (5分) T1 ②触って当てよう (5分) T2 ③数字を探そう (7分) T1 ④箱を重ねよう (5分) T2 ○ペア活動 (AとD, BとC)	・数字の歌を歌い，活動への期待を高めるようにする。 ・数に着目しテンポよく進めることで，動物の鳴き声や物の音などを楽しく表現できるようにする。 ・野菜の種類は，個に応じて準備する。(1～3種類) ・野菜の個数にも着目し，数に親しむようにする。 【手立て2】「かく」活動 ・数字に○をつけ，合計の個数を数える。 ・集中して作業に取り組むことができるように，書きやすいペンを用意する。(B・全員) ・丁寧に○をつけるように声がけをし，数え間違いのないように注意を促す。(C) 正しく数えられるように，数字シールを貼るようにする。(B・D) 【手立て3】相互交流 ・1から順に，10個の箱を協力して積み重ねる。 ・友達のペースに合わせてながら1から10までの箱を順に重ねられるように，相性の合うペアにする。	・数字カード 動物カード ・ブラックボックス ・野菜模型 ・プリント ・ペン ・数字シール ・箱(10個)

<p>活動する</p> <p>35分</p>	<p>⑤ピンポン玉リレーをしよう (13分) T2 ○グループ活動</p>	<p>【手立て3】相互交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピンポン玉を落とさないようにリレーする。 ・落とさないようにするために、前の活動を振り返ってリレーの順序を考え、「いくよ」などと声をかけてから渡すとよいことを確認する。 ・合計の個数を数える時、10のまとまりに視覚的に気づくように、卵パックや10カードを使う。 ・ペアで協力して数える活動ができるように、それぞれのペアの役割について助言する。 ・協力して種類ごとに片付けができるように、指示を出す。 <p>《評価》・友達と仲良く活動しながら、数に親しむことができる。 ・相手に適切な言葉かけをしている。(C・D)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンポン玉 ・お玉 ・タイマー ・記録表 ・卵パック ・10カード
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>5 振り返りをする。 T2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想や、自分や友達が頑張ったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の頑張りを3文程度で発表できるように、花丸やスマイル磁石で視覚的評価をする。 ・3文まで広がらない場合は、聞き出して、話の内容を整理するようにする。(B) <p>《評価》・友達の頑張りを見つけて発表することができる。(B) ・友達や自分の頑張りを見つけ、進んではきはきと発表することができる。(C・D)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花丸 ・スマイル磁石

※Bに落ち着かない言動がある場合は、側に行き、気持ちの切り替えをするような声かけをする。

(4) 評価計画

	評価	評価場面
2 B	ルールを守って楽しく活動しながら、数に親しむことができたか。	・学習態度
3 C	はっきり伝えたり、自主的に活動したりしながら、数に親しむことができたか。	・数遊び
4 D	ルールを理解して、適切な言葉で関わり合いながら、数に親しむことができたか。	・振り返り

(5) 板書計画

<p>かずとあそぼう</p> <p>B 花丸</p> <p>A 花丸</p> <p>C 花丸</p> <p>D 花丸</p>	<ol style="list-style-type: none"> あいさつ めあて かずあそび <ol style="list-style-type: none"> ことばあそびをしよう さわってあてよう すうじをさがそう はこをかさねよう ピンポン玉リレーをしよう ふりかえり あいさつ 	<p>めあて たのしくかずあそびをしよう。</p> <p>イラスト はっきりはなす</p> <p>イラスト スマイルことば</p> <p>A D C B</p> <p>数 数 数 数</p> <p>数 数</p>
--	---	--